


ロールスルー・ジ・エイジズ

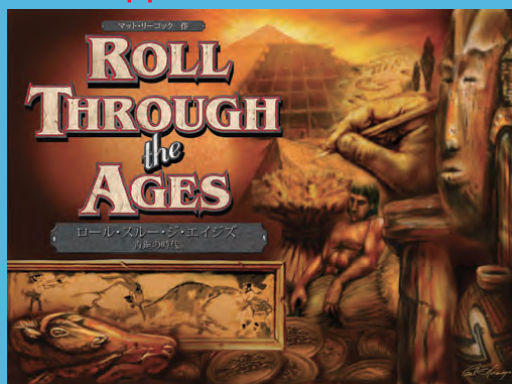
- 原題 : Roll Through the Ages
- 作者 : Matt Leacock (マット・リーコック)

 ドイツ 2010年 ゲーム大賞 (Spiel des Jahres) ノミネート

各プレイヤーが文明を担当し、最も栄えた文明となることを目指します。各文明には当初3つの都市があり、この都市の数が手番毎に振れるダイス(サイコロ)の数になります。ダイスの目には物資やコイン、労働者が描かれています。物資やコインによって文明を進歩させ、得点すると共に文明を様々な強化できます。労働者によってモニュメントを建設しても得点でき、また追加の都市を作れば手番に振れるダイスの数が増えます。ただし、手番毎に都市の数だけ食料の目が必要になることに注意してください。食料不足による失点は重大です。そして最も恐ろしいのは、文明に様々な災いをもたらすドクロの目です。

人気の協力ゲーム「パンデミック」の作者の作品であり、プレイヤーを楽しく悩ませるデザインは健在です。ゲームがいつ終わるかを見極めて、文明に繁栄をもたらしてください！

BOX size **M**

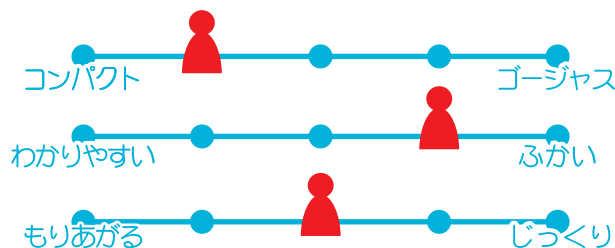


←215mm→

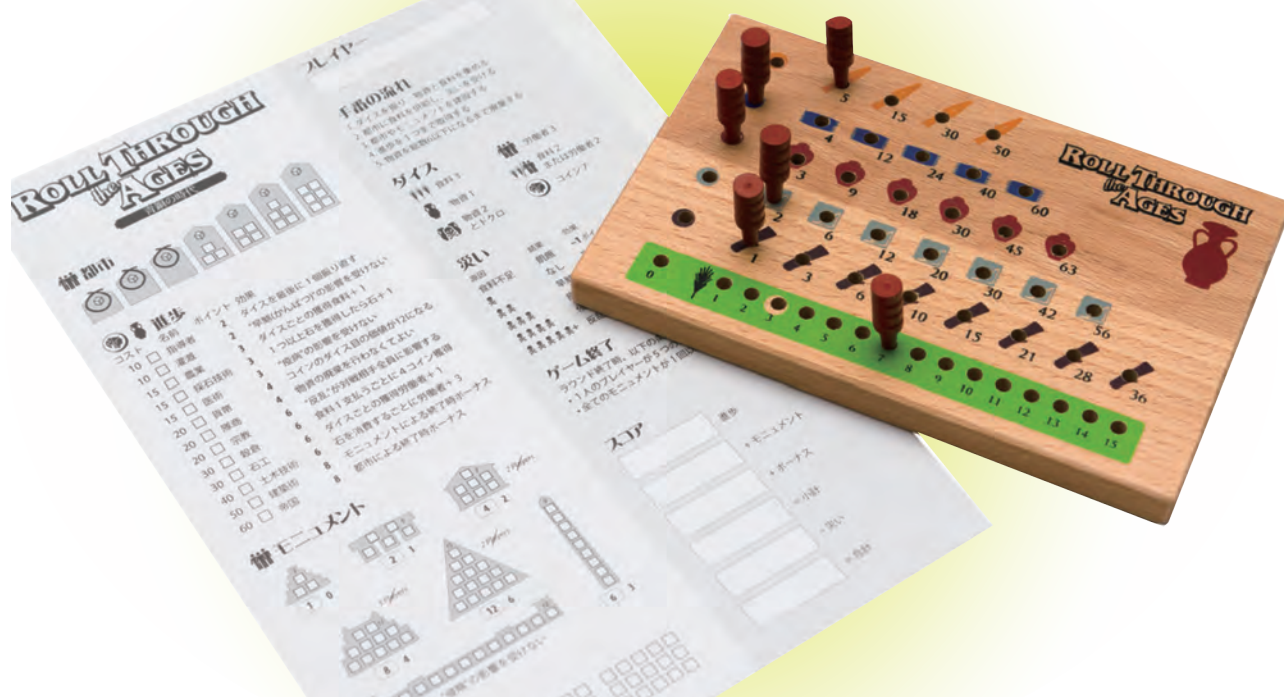

8才~
対象年齢


1~4人用
遊べる人数


40分
時間



ダイスを振って文明を育てる



詳しいルールはこちらから

<http://www.newgamesorder.jp/games/rollthroughtheages>

このゲームは一見サイコロの目とその効果的な適用が求められるかのように思えますが、実は一緒に遊ぶプレイヤーの性格を把握しておく事が重要だったりします。なぜなら、「災い」の目を3つ揃えたがるプレイヤーがいるならばそれに備えた「進歩」を獲得する事が重要になるからです。普段遊んでいる仲間のことをよく観察することがこのゲームで勝つカギになるかもしれません。